

新潟市認知症初期集中支援チーム 「おれんじサポート」の実施状況について

新潟市福祉部地域包括ケア推進課

認知症初期集中支援チームの実施状況 (R4.2月末)

年度	H27 (28. 1~28. 3)	H28	H29	H30	R元	R2	R3 (R4. 2末)	計
相談件数	16	34	35	39	53	51	54	282
支援対象者	7	18	29	27	29	43	35	188
支援終了者 ※1	7	18	29	27	29	39	38	187
待機中の者 ※2						1	13	14
支援対象外 ※3	9	16	6	12	24	7	6	80

※全市域での開始はH30. 11から

- ※1 前年度からの支援対象となっている者で当該年度に支援が終了した者を含む
- ※2 支援対象としたものの、本人・家族の拒否等で訪問のタイミングを計っている者
- ※3 支援対象外の内訳：介入前に医療・サービスにつながった、精神科疾患として受診、身体的な疾患で入院、家族が介入拒否 など

1

令和3年度の各チームの活動状況 (R4.2月末)

おれんじサポート	相談件数	支援対象者	支援終了者	待機中	支援対象外
北・東	5	4	4 (2)	0	1
中央	35	23	23 (10)	11	1
江南	5	3	4 (1)	1	1
秋葉・南	6	3	3 (0)	1	2
西・西蒲	3	2	4 (3)	0	1
計	54	35	38 (16)	13	6

・ () は、前年度からの支援対象となっている者で令和3年度に支援が終了した人数

2

圏域ごとの相談・支援状況 (R4.2月末)

	圏域	H30		R1		R2		R3	
		相談件数	支援対象者	相談件数	支援対象者	相談件数	支援対象者	相談件数	支援対象者
北・東	阿賀北					2	1	1	1
	くずつか							1	1
	上土地亀								
	山の下	1		4(1)	0	4(1)	3(1)	1	1
	藤見・下山			2	0	3(1)	3(1)	2(2)	1(1)
	木戸・大形			2(1)	1	2	2		
	石山			1	1				
中央	関屋・白新	4	1	2	1	1	1	2	1
	ふなえ	5(1)	3(1)	3	2	1	1	8(4)	5(3)
	宮浦東新潟	7	4	8	7	9(2)	9(2)	19(1)	13(1)
	鳥屋野・上山	2	1	3	3	9(1)	9(1)	3	2
	山潟			1	1	2(1)	2(1)	3(2)	2(1)
江南	大江山・横越	2	2	3	2			1	1
	かめだ	1	1	2(2)	1(1)	4	3	1	
	曾野木両川			1				3(1)	2

() はケアマネからの相談件数 3

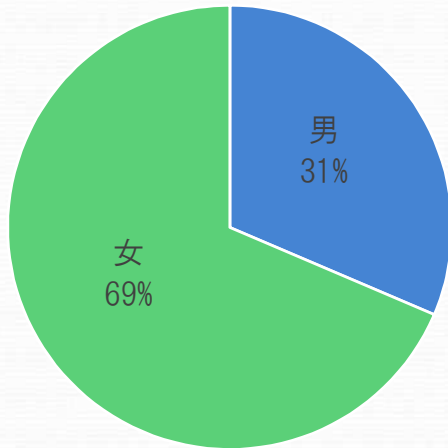
圏域ごとの相談・支援状況 (R4.2月末)

	圏域	H30		R1		R2		R3	
		相談件数	支援対象者	相談件数	支援対象者	相談件数	支援対象者	相談件数	支援対象者
秋葉・南	にいつ日宝町	1	1	3	2			1	1
	新津			1		2	2	2	1
	こすど			1(1)	1(1)	1			
	しろね北	2	2	1	1	1		1	
	しろね南	3	3	5	3	2(1)	1(1)	1	
	あじかた			1	1	2	2	1	1
西・西蒲	小新・小針	1	1	2(2)		1(1)	1(1)	1	1
	坂井輪	2	2					1	1
	黒埼					1			
	赤塚	1		4		1(1)	1(1)	1	
	西川			1	1				
	中之口・潟東	※ 1	※ 1						
	巻	3	2	2	1	2	1		
岩室	3	3			1	1			
合計		39(1)	27(1)	53(7)	29(2)	51(9)	43(9)	54(10)	35(6)

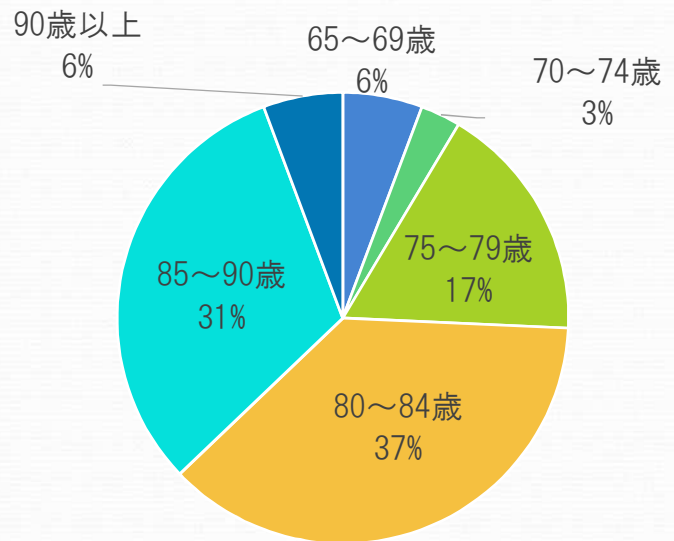
※H30の中之口・潟東はおれんじサポート秋葉・南が対応

支援対象者の状況 (R4.2月末)

性別 (n = 35)



年齢区分 (n = 35)

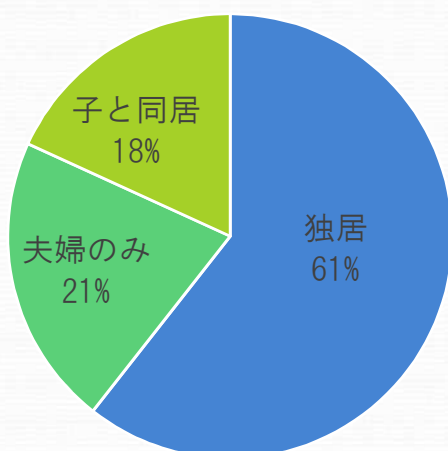


- ・ 女性の割合が多い (R2 : 72%)
- ・ 75歳以上の対象者が約9割を占める (R2 : 80%)

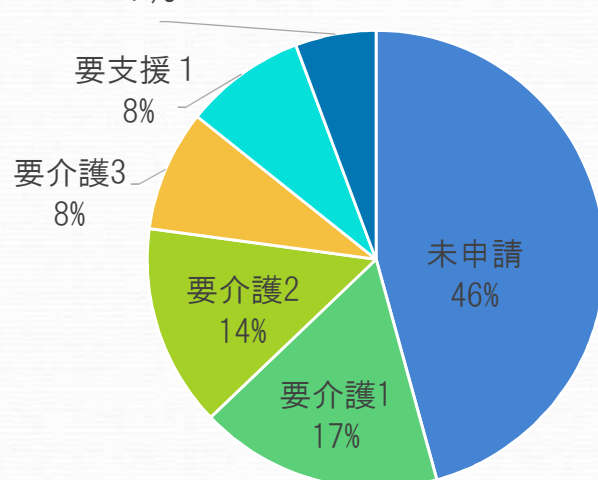
5

支援対象者の状況 (R4.2月末)

世帯構成 (n = 35)



要支援2 要介護度 (n = 35)
7%



- ・ 独居の対象者が約6割を占める (R2 : 36%)
- ・ 介入時、要介護認定未申請が約5割を占める (R2 : 62%)

6

支援対象者の状況 (R4.2月末)

対象分類	件数	率
医療・介護サービスを受けていない または中断している	30	86%
医療・介護サービスを受けているが、BPSDが 顕著なため対応に苦慮している	5	14%

n=35 複数回答あり

主な状況

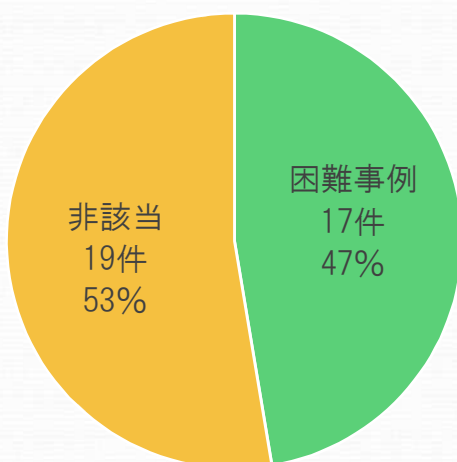
- ・ 本人に認知機能低下の自覚がなく、受診や介護サービスを拒否
- ・ 受診しているが、鑑別診断は未実施
- ・ 家族の理解が乏しく、受診やサービス利用につながらない
- ・ 被害妄想あり、家族が困っている など

7

支援終了者の状況

【令和3度に支援が終了した者】 ※R4.2月末

困難事例の割合 (n=36)



困難事例の内訳

- ・ 本人拒否が強く、家族の方針も一致しない
- ・ 独居でキーパーソン不在、本人に自覚なく、周囲が困っている
- ・ 独居で家族とは疎遠、病識なくサービスにつながらない

など

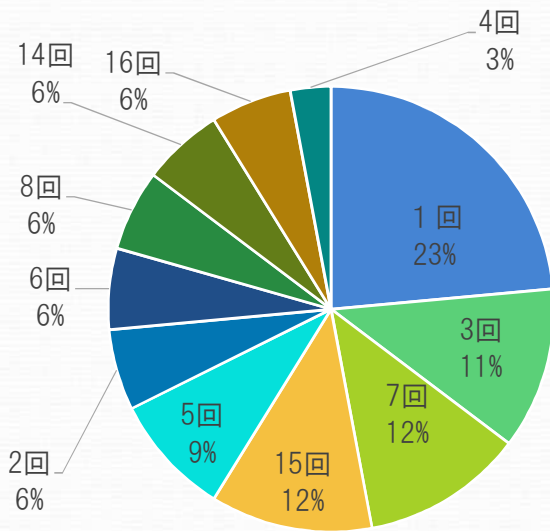
- ・ 支援終了した人の5割弱が困難事例である (R2: 35%)

8

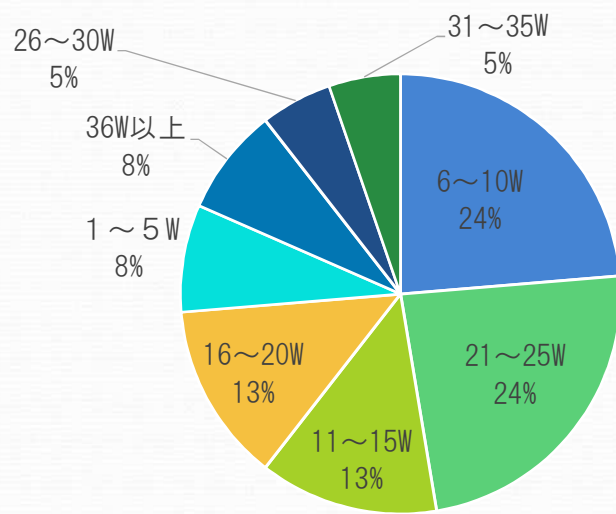
支援終了者の状況

【令和3度に支援が終了した者】 ※R4.2月末

訪問回数 (n=36)



支援終了に至るまでの期間 (n=36)

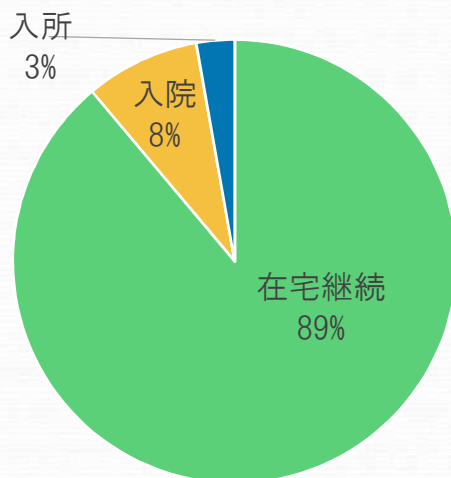


- ・ 訪問延回数281回、訪問回数の平均は7.4回 (R2: 訪問平均4.2回)
- ・ 約7割が概ね6ヶ月で支援を終了している (R2: 約6割)

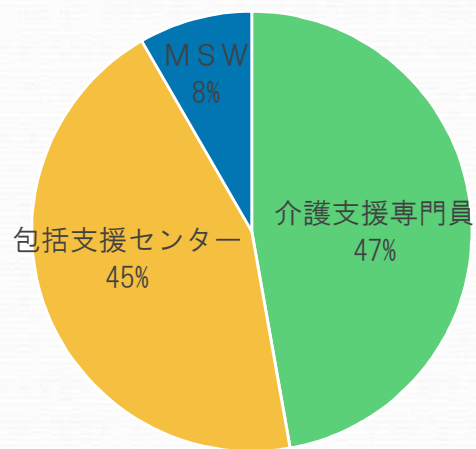
支援終了者の状況

【令和3度に支援が終了した者】 ※R4.2月末

支援終了後の生活の場所 (n=36)



支援終了後の引継ぎ先 (n=36)



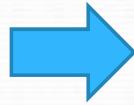
- ・ 支援終了後の転帰先は約9割が在宅継続となっている (R2: 70%)
- ・ 引継ぎ先は介護支援専門員と地域包括支援センターがほぼ同じ割合 (R2: 地域包括支援センター41%、介護支援専門員32%)

支援終了者の状況

【令和3度に支援が終了した者】 ※R4.2月末

医療サービスの導入

87%



- ・ 専門医の鑑別診断後かかりつけ医へ
- ・ 訪問看護の導入により医療受診へ
- ・ 通院困難により訪問診療医へ
- ・ 行動・心理症状強く専門医へ入院

医療サービスにつながらなかった方の状況（2人）

- ・ 受診の必要性について家族の理解が得られず、包括支援Cに引き継ぐ
- ・ 本人の受診への拒否が強く受診に至らず、介護保険認定申請の受診につなげることがやっと

11

支援終了者の状況

【令和3度に支援が終了した者】 ※R4.2月末

介護等サービスの導入

71%



- ・ 訪問看護の利用
- ・ 訪問薬剤師の導入から訪問系サービスの利用へ
- ・ デイサービスの利用
- ・ 施設入所 など

介護サービスにつながらなかった方の状況（10人）

- ・ 家族・本人がサービスの必要性を感じていない
- ・ 本人の拒否が強い
- ・ 介護保険認定申請につなげるのがやっと
- ・ 多疾患で入院となった
- ・ BPSDが顕著で医療保護入院となった など

医療または介護等サービスへの導入率は95%

12